

第5回勾当台エリアビジョン策定検討懇話会議事録

日 時 令和3年4月27日(火) 18:30~19:30
場 所 フォレスト仙台 第1・第2会議室
出席委員 岩間友希委員(WEB)、姥浦道生委員(WEB)、高山秀樹委員(WEB)、
舟引敏明委員(WEB)、宮原育子委員
事務局 梅内淳まちづくり政策局長(WEB)、浅野吉昌まちづくり政策局次長、
松田智子まちづくり政策局政策企画部長、
藤原知明まちづくり政策局政策調整課長(WEB)、その他職員

1. 開 会

司 会 :

それでは、おおむね定刻となりましたので、ただいまより第5回勾当台エリアビジョン策定懇話会を開催いたします。冒頭の進行につきましては、恐縮ではございますが事務局で務めさせていただききたいと存じます。

それでは、開会の前に、本日の開催形式についてご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、本日の懇話会はWEB形式による開催とさせていただいております。なお、進行上の都合がございますことから、座長と事務局の一部につきましては同一の会場からの出席とさせていただいております。一般傍聴につきましては、隣の会場にてWEB映像を視聴する形での傍聴とさせていただいております。いずれの会場につきましても必要な感染予防上の配慮も実施しております。

次に事務局の職員でございますが、この4月の人事異動によりまして、新たに加わった職員がございますのでご紹介させていただきます。まちづくり政策局次長の浅野吉昌でございます。浅野次長より一言ご挨拶申し上げたいと思います。

浅野次長: 4月よりまちづくり政策局の次長に着任しました、浅野と申します。最終となる懇話会からの参加になりますけれども、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

なお、局長の梅内でございますが、本日、新型コロナウイルスに係る市議会の災害対策会議が急遽開催されており、そちらへの出席が必要となっておりますので、現時点では欠席になってございます。

災害対策会議の終了時刻がまもなくではないかということでございますけれども、終わり次第、遅れての参加とさせていただきますので、予めご承知置き願ひたいと思ひます。

私の方からは以上です。よろしくお願ひいたします。

司 会: 先ほど、災害対策会議が終わりましたので、ただ今より、局長の梅内と4月から政策調整課長に着任いたしました藤原が市役所からWEBで参加いたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。資料は4点ございまして、1つ目が次第とな

っております。2 つ目が資料 1「中間案に対するパブリックコメントの実施結果について」、3 つ目の資料が最終案の冊子になります。4 つ目が資料の 3 としまして最終案の概要版の冊子となっております。

それではこれよりの進行は、宮原座長にお渡ししたいと思っております。宮原座長、どうぞよろしくお願いいたします。

宮原座長： みなさん、おばんでございます。座長を務めさせていただきます宮原です。

今日は、勾当台のエリアビジョン策定検討懇話会の最後の会となりました。オンラインではありませんけれども、姥浦先生、舟引先生、高山さん、岩間さんの全員が参加の下、今日も色々と議事を進めていきたいと思っております。

それでは、議事に入る前に数点、確認をさせていただきます。

本日の懇話会ですが、非公開とすべき内容を扱う予定はありませんので、公開することとしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。公開で議論を進めてまいります。

もう 1 点、議事録署名の委員ですが、五十音でお願いしております。前は舟引委員にお願いしておりましたので、今回はまた前に戻って、岩間委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

岩間委員： 分かりました。

宮原座長： よろしくよろしくお願いいたします。

2. 議 事

(1) 勾当台・定禅寺通エリアビジョン最終案について

宮原座長： それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。

議事のほうは、勾当台・定禅寺通エリアビジョン最終案についてということで、まずは 2 月 26 日から、中間案に対して行いましたパブリックコメントの結果について、資料 1 に基づいて事務局から説明を受けた後、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

次に資料 2 と 3 に基づきまして、ビジョンの最終案について、中間案からの主な変更点を中心に事務局から説明を受けた後、委員の皆様からご意見をいただいて参りたいと思っております。

このように大きく 2 つに分けて、ご意見をいただきたいと思っておりますが、委員の皆さんよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは事務局より、次第の 1 で、中間案に対するパブリックコメントの実施結果につきまして、資料 1 のご説明をお願いします。

事務局： それでは事務局より、資料 1 に基づいて説明させていただきたいと思っております。

政策調整課の大宮からご説明させていただきます。

資料ですが、画面上に共有させていただいておりますので、こちらをご覧くださいながら、ご確認いただければと思います。

まず、パブリックコメントでございますが、前回の懇話会でお示しした中間案から一部修正したもののパブリックコメントを実施しております。修正内容につきましては、前回の懇話会でいただきましたご意見を踏まえたものでございまして、修正点につきましては、委員の皆様様に事前に個別にご確認をいただいたうえで、パブリックコメントを実施させていただいております。

パブリックコメントの実施期間でございますが、資料にも記載のとおり、令和3年2月26日から3月25日までの1か月間となっております。

実施結果といたしましては、25の個人及び団体の方から55件の意見を頂戴しております。この件数ですが、他の計画等や市の計画と比べてみましても、比較的多いものになっておりまして、本ビジョンが市民の皆様から大変感心を寄せられている結果であると受け止めているところでございます。

いただいたご意見を内容毎に区分してみますと、資料に(1)から(7)で区分して記載しておりますが、見てお分かりいただける通り、施策の方向性に関する意見であるとか、あるいは重点ゾーンと空間イメージに関する意見がそれぞれ30件と14件になっておりまして、具体の施策に関する内容にご意見が集中する結果となっております。

これらのご意見の内容を見てみますと、例えば具体の施設や土地の利活用に関するところとか、あるいは街並みに関するところ、このエリアで行われるイベントに関するご意見等となっております。

本ビジョンですが、まちづくりの理念と施策の方向性を示すということが目的で策定するものでございますので、いただいた具体の施策に関する多くのご意見につきましては、ビジョンの内容に直接的に反映するというのではなく、このビジョンを踏まえて展開されます各事業を進めるうえで、貴重なご意見として参考にさせていただくことで、ビジョンが示す理念の実現に繋げて参りたいと考えております。

その他、個々の意見の内容とご意見に対する本市の考えにつきましては、別紙に一覧としてまとめてございます。時間に限りもございますので、すべてのご説明は割愛させていただきますが、ご意見を踏まえまして修正を行っている箇所が2か所ございますので、そちらについてご説明させていただきます。

まず意見ナンバー51番でございます。こちらのご意見につきましては、今後このエリアで行われる様々なプロジェクトを共通する目標に向かって進めるために、部署の横の繋がりをしっかり保つようにとのご意見でございます。この点につきましては、ビジョン実現のために大変重要なこととございまして、本市としましても、そのような考えをもって臨んできたところでございますが、ビジョンの記載内容としましても、しっかり明記すべきと考えまして、第4章の策定後の展開の中に、庁内の連携強化に関する記載を追加しております。

次に、意見ナンバー53番でございます。こちらはすでに進んでいる市役所の建て替えと、本ビジョンの関係が不明確で、特に今後の展開への影響もよく分からないというご意見でござい

ます。本ビジョンは先行する各事業の考え方を踏まえたものである一方、各事業の具体化に向けた検討におきましては、本ビジョンで示す理念を踏まえていくことになるものでございます。中間案でも第4章の「策定後の展開」の中におきましても、そういった趣旨の記載をしておりましたが、趣旨がやや掴みにくい表現であったと考えておりまして、より明確になるように表現を一部修正いたしました。

以上2点の修正につきましては、パブリックコメントを踏まえた修正となっております。後ほど、最終案の説明を差し上げる際も、修正箇所について改めて説明させていただきたいと思っております。

資料1に関する事務局の説明は以上でございます。

宮原座長：ありがとうございました。

沢山のパブリックコメントをいただきまして、かなり具体のアイデアであるとか、提案も含まれています。大宮さんからは、反映すべきところについてご説明がありました。委員の皆様には、資料1をご覧になって、その他にそれぞれのパブコメに対して、意見等がありましたら是非お聞かせいただければと思います。

いかがでしょうか。コメントでも結構です。

姥浦座長代理：姥浦ですけど、よろしいでしょうか。

まずパブコメの続きお疲れ様でした。今、委員長がおっしゃったように沢山ご意見が来たというのは非常に良かったと思っておりますし、それからそのプロセスの中で色々なステークホルダーの方々のところに行って、ご説明いただいたということも非常に良かったかと思っております。

その上で全体的に申し上げたいのですが、このパブコメをくださる方というのは、これに非常に興味・関心を持っていらっしゃる方ですので、非常に重要な方々なわけですから。これからこの人達をまさに、どうやって味方につけていくか、どうやってこの人達と一緒にやっていくか、そういう人達が結構いらっしゃるのではないかというふうに思っておりまして、出来る限り丁寧に応えるというか、全体のバランスがおかしくなって、計画内容に矛盾が生じるものではない場合には出来るだけ取り入れるぐらいの勢いで考えられた方が良いのではないかと思います。

全体的に冷たい印象を受けまして、私がこのパブコメを出したとしたらショックを受けて、2日ぐらい寝込んでしまいそうだなという気もしなくもなかったものですから。時間もないので説明を割愛された中で恐縮ですが、いくつかございまして、例えば18番で、定禅寺はバスと搬入車両に限定したいというご意見ですが、今、定禅寺通活性化で、空間の再構成については色々と検討しているのでも、そういう具体的な取り組み内容について書けることがあったら書いた方が親切だなと。20番ですけれども、具体的な内容については今後検討するとしても、すでにガイドラインがあって検討する必要がないのであれば、ビジョンの内容と矛盾するわけではなく、これらの要素を例示するくらいだったらいいのではないかと。22番は、道路はそれなりの関心事で、道路の利活用や再編についてはすでに検討が始まっていますので、「検討しているところですか」とか「していきます」とか、書いてもいいのではないかなということがぼちぼちありまして、細くなるので後でまとめてお送りしたほうがいいのかもかもしれませんが、全体とし

てはそういうところかなど。

あと例えば、音楽ホールに対する意見も「無理」と言い切ったところもあれば、そうじゃないというふうに、回答に温度差があるようなところもあったりとか。4ページの最後、30番と31番の答え方で整合が取れていないかなということだとか。いずれにせよ丁寧語なのだけでも、冷たい感じの丁寧語なので、もう少し全体的に優しく、出した人が反映してもらったという気持ちになれば最高ですし、そうじゃないとしてもここに書かれているからこれでいいという、納得していただけるというか、そういう気持ちを出来るだけ持っていただけるような回答になさったらいいのではないかという気がしました。以上です。

宮原座長： どうもありがとうございました。

全体的な文の文調といいますか、内容に関してのご指摘もあったんですけども、これは、公表はしたものでしたでしょうか。もし事務局から何かありましたら、部長からお願いします。

事務局： パブリックコメントを出された方からの視点というような形でのご意見ありがとうございます。

パブコメの本市の考え方をお示ししたものはまだ公表はしておらないところでして、今日のこの懇話会が終わって、それを踏まえてからというところで考えておりました。

ご意見を出された方の気持ちに寄り添う視点も非常に大事だと思いつつも、出された方がこちらの回答なり考えをしっかりと分かるようにするという視点も大切なことかと思っております。個別具体の取り組みに繋がるようなことはまだ白紙の状態で書けないものも多々あるので、例えばご指摘いただいたようなところで、今現在の取り組みでこのようなものがありますよといった情報提供に繋がるようなところは加筆の余地はまだあるのかもしれないと思っておりますので、そちらを少し検討してみたいと思います。

宮原座長： ありがとうございます。

姥浦先生、よろしいでしょうか。

姥浦座長代理： はい、進んでいないことだとか無理に書く必要は全然ないと思うんですけども、情報の提供レベルでも十分だと思うので、是非お願いいたします。また細かくは、後ほどお送りいたします。

宮原座長： ありがとうございます。宜しく申し上げます。

他にいかかでしょうか。特にご指摘しておきたいことは、高山さん、お願いします。

高山委員： 3ページの17番とか4ページの23番を見ますと、このエリアに高層ビルが建つとか、そういう大規模な建物が建設されるというイメージを持たれる方がいらっしまったのかなというふうに思ってます、その要因がきっと38・39ページの空間イメージから、白いビルを表すような表記が、高層ビルがこのあたりに出来るんじゃないかという誤ったイメージを与え

てしまって、本来目指しているこの定禅寺通のエリアビジョンと異なるイメージを植え付けてしまっているのではないかというのが気になりまして、もし可能であれば、もうちょっと工夫が必要なのではないかと感じた次第です。以上です。

宮原座長：ありがとうございました。

そうですね。表紙を映していただいていますでしょうか。

これは議論の途中で出てきた、モデル図、構想図みたいなものですが、勾当台公園の周辺に白いビルが囲むような形になっていますが、そこからそういったご発言が出てきたのかなというようなご指摘をいただきました。これはまた、表紙を変えるなり、少しイメージを変えるなりした方がいいんでしょうかね。どうでしょうか。

事務局：梅内でございます。

ご意見ありがとうございます。表紙の絵については、既存のビルとかの影響も考えながら非常に工夫して作っているところではあるんですけど、今ご指摘のようなご意見もありますので、どういった修正が可能かということは、技術的にどこまで出来るのかも含めて、最終の調整をしていきたいと思っております。以上です。

宮原座長：ありがとうございます。

もう少し表紙も検討していただきながら、全体の見え方の工夫も是非盛り込んでいただければと思います。ありがとうございます。

高山さん、よろしいですか。

高山委員：はい。

宮原座長：ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。岩間さん、お願いします。

岩間委員：私も本当に関心が高いテーマなんだなと思いながら、皆さんのパブコメを読んでいたんですけども、17番とかの「定禅寺通街並み形成ガイドライン」は、まちづくりをやっている人は知っていると思うんですけど、やっぱり知られてないんだなということを思って、この街並み形成ガイドラインと今回のエリアビジョンって紐づくところも多いなという感じがありまして、何かもう少し分かりやすいところに、こういうのがすでにひかれているということを表記することはありなんではないかという確認です。以上です。

宮原座長：岩間さん。これは最終案の方に、少し付け加えた方が良いというご意見でしょうか。

事務局：また、梅内でございます。

街並み形成ガイドラインは確かにパッと書くと分からないと思いますので、既存のもの

位置づけとか、注釈をどういうふうに加えられるか、読んだ方がすぐにわかるような形で欄外への記載になるか分かりませんが、書き方について少し工夫をして、最初に読んだ方が分かるように修正をしたいと思います。ありがとうございます。

宮原座長： ありがとうございます。
舟引先生、何かございますか。

舟引委員： 昨日、市の別の審議会の最終まとめみたいところで、パブリックコメントの仕事をやってきたんですけど、ちょっと制度的な話でいうと、この委員会は専門家の意見を集めて、どちらかというとプロ目線でプランがきちんといくかどうかということを考える場所。

一方で、それに対して必ずステークホルダー、最も多いのは市民ですが、そちらの利害関係なり意見調整をやるのがパブリックコメントという手続きなんです。

実は昨日の審議会は、80件あるパブリックコメントを1件1件全部説明していただいて、それに対する市の考え方を示していただきました。

ここに意見を出していただいた方は、とにかくステークホルダーの代表で、得てして行政側はパブリックコメントを手順の1つであって、これを通り過ぎたらいいんだと、若干思う傾向があるんですが、そうではなくて、これは市がコメントを出してくれた人に対する約束ですよ。厳密にそういう法的な強制力があるわけではないけれども、ここで示した考え方を、これからこの仕事を進めていく中で、常に頭の中に入れておかなければいけない約束なんだというふうに、本当はきちんと整理をしていくんですが、大体プランが出来た時にはパブコメの事なんかすっかり忘れてしまっているというのが得てしてありがちなので、このプランに関して言えば、プランを作る事はスタートで、その次に実行していく事が大事なので、必ずパブリックコメントが役所はすぐ人事異動で人が変わりますけれども、こんな考え方でこんな意見を持っている人達がステークホルダーにいるんだということが、上手く継続できる。そういうことも取り組みの1つとして考えていただければというふうに思う次第です。特にどこをこうしろという意見があるわけではありませんが、そんな感じで市の方も考えていただければと思います。

宮原座長： はい、ありがとうございます。
全体的な形でいただいたパブコメを、どのように扱っていくかということでご意見をいただきました。

事務局からも冒頭に、これに関してはきちんと具体のプランが動く時に、こういったパブコメを大事に使いながらやっていきますというお話もいただいていますけれども、何かお話しすることございますか。

梅内局長、お願いします。

事務局： ありがとうございます。
まさに舟引委員の方からありましたように、市全体でこれをどう実行していくかというの

が課題だと思っております、例えばケヤキの保全であれば建設局とか、定禅寺通の車線規制であればまちづくり政策局というふうに、複数の部局がこれから関わってこのビジョンに基づく取り組みを進めてまいります。その際、関係局が、先程ご指摘のあった人事異動等でバラバラになってくという事はよくあるので、ワーキングチームのようなものを庁内で作ることにしております、組織的に横串が刺さるようにこれから運営に当たって取り組んでいこうということで、関係部局の方と調整をしております。

進めるにあたって、今ご指摘のあったところは出来るだけ我々も実現できるように、パブリックコメントのご意見等を上手く反映できるように、庁内の中でも工夫をしていきたいと考えてございます。

宮原座長：ありがとうございます。

今回のパブリックコメントは、最終案の資料として載せるとか、そういうのはあるのでしょうか。特に考えてはないですかね。

事務局：最終案そのものの付属資料という位置づけになるわけではないんですが、パブリックコメントの結果としては、当然公表した上で、ホームページなどでご報告差し上げるというかたちになりますし、議会等にもご報告差し上げる予定でございます。

宮原座長：はい、ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

それでは、議事を進めていきたいと思えます。

続きまして、勾当台・定禅寺通エリアビジョンの最終案について、資料の2につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：それでは事務局から、資料の2についてご説明差し上げます。資料2に基づきまして、勾当台・定禅寺通エリアビジョンの最終案につきまして、ご説明申し上げます。

前回の懇話会におきましては、中間案を全体を通す形でのご説明を差し上げておりましたので、大きく中間案からの変更点を中心にご説明させていただきたいと思えます。

まずはご覧いただいております表紙でございますが、前回の懇話会でお示した中間案ではタイトルのみのシンプルな表紙にしておりました。また、パブリックコメントの時点でも表紙のイラストはないシンプルな表紙で、パブリックコメントを実施させていただいております。

今回、最終案におきましてはご覧いただいておりますとおり、このエリアを指すまちの象徴といたしまして、重点ゾーンの空間イメージパースを掲載しております。さらにこの地区のみならず杜の都仙台のシンボルでもあります、ケヤキのイラストをレイアウトした、デザインにしております。表紙のデザインにつきましては、宮原座長から色々なアドバイスをいただいております、改めて御礼申し上げます。

なお説明を割愛いたしますが、資料3の概要版につきましても、表紙は同じデザインとさせていただきますと考えております。

次に、8ページになります。この8ページから11ページにかけては、ビジョンと関連する計画を紹介しておりますが、前回の中間案から時間が経過しておりますので、内容について時点の修正を行っております。特に多くの計画につきましては、先月末時点で策定を終えておりますので、記載内容もそれに合わせて修正を行っております。

資料最後に飛びますが、21ページになります。21ページから23ページにかけては、このエリアで進んでおります市役所本庁舎の建て替え、次のページですと定禅寺通の活性化、また次のページですと勾当台公園の市民広場の再整備につきましても中間案からの修正を行っております。特に勾当台公園・市民広場の再整備につきましては、先月、再整備に向けた有識者による1回目の検討懇話会が開催されておりまして、基本構想策定に向けた検討が動き出したところでございます。

続きまして、またページが飛んでしましますが、40ページでございます。こちらは策定後の展開になりますが、先ほどパブリックコメントを受けた修正というところでもご説明いたしました。2ヶ所パブリックコメントを踏まえた修正を行っておりまして、1点目は1段落目でございます。先ほど、「市役所内の関係部署が連携を強化しながら」という表現を追加してございます。先ほど、梅内からもご説明しましたとおり、庁内でワーキングチームのようなものを立ち上げた形で、連携を強化しながら取り組みを進めていくというところでございます。

2点目は2段落目でございます。重点ゾーンに含まれる3つの事業が本ビジョンの趣旨を踏まえながら、進められていくという事がシンプルに伝わるようにパブリックコメントの意見を踏まえて修正を行ったところでございます。

以上が主な修正点となっております。説明をした箇所のほか、体裁であるとか、「てにをは」といった言い回しのところにつきまして、軽微な修正を行っておりますが、大きく内容に関わる部分ではございませんので、この場での説明を割愛させていただきます。

次に41ページでございますが、検討経過に関連し、今後のスケジュールについて、この場でご説明差し上げたいと思っております。本日4月27日の懇話会後でございますが、いただいた意見を踏まえまして必要な修正を行いまして、ここには記載してございませんが、5月21日に市議会の常任委員会でパブリックコメントの実施結果とビジョンの最終案を報告する予定としてございます。その議会への報告を踏まえまして、必要な修正等を行ったうえで、5月中には内部的な決済の手続きを行い、内容を確定したいと考えております。その後6月1日に公表を行う予定と考えてございます。資料の説明は以上でございます。

宮原座長：ありがとうございました。

最終案につきましても、少し修正の箇所も確認をさせていただきながら、今日ここにありまして最終案につきましても、今回はこの懇話会が最終回となりますので、皆様からそれぞれご意見をいただきたいのですが、懇話会を通じた総括的なご意見、それから今後に向けた観点等、ご意見を是非いただきたく存じます。表紙のデザイン等についてもご提案があれば是非お示しいただければと思っております。

それでは委員の皆様から、色々なご意見をいただきたいと思います。
いかがでしょうか。順番に指名してもよろしいですか。
そしたら、姥浦先生よろしいですか。お願いします。

姥浦座長代理：あまり特にはないんですけど、まずは事務局の皆様方、大変お疲れ様でございました。前回か前々回に申し上げましたけれど、やっぱりこの辺りの価値というのは駅前と違うものをどう作っていくのかというところが根本として非常に重要で、駅前は駅前でそれこそ東京らしさというか、パルコだとかパルコ2だとか色んなものがあって、そういう最先端のものを消費していくという、非常に東北全体で、東京らしさをあそこに行けば味わうことが出来る、もしくは仙台を味わうことが出来るという非常に重要なポイントですし、もう一方でこちら勾当台エリア・定禅寺エリアというのは、仙台らしさの新しい価値をどう創出していくのかというところが非常にポイントになってくると思っています。その辺りを基本としながらやっていく、こういうビジョンを作ってやっていくのは非常に素晴らしいことかなと思います。

先ほど、梅内局長からもお話がありましたけれども、これからの実現が非常に重要になってくると思っていて、1つは当然、市の中でのいろんな事業がございますので、それをどうコーディネートしていくのかということで、先ほど

ご説明いただいてちょっと安心したというか、さすが素晴らしいなと思った次第です。

それに加えてもう2つだけ付け加えさせていただきますと、1つは民間の方々と、ここでいう話なのかよくわかりませんが、ワーキンググループ的なものなのか、勉強会的なものなのか、ざっくりばらんな話をする場なのか、どういうものかは私も分かりませんが、そういうものも何かあったらいいのではないかなと。たぶんそれぞれの、定禅寺なら定禅寺、何とかなら何とかで、それぞれのところでそういう場が持たれているのかもしれないけれども、そういうものも1つあっていいのかなと。そういう民間の方々の考え方というものを、特に今回は高山委員が今回は入っていらっしゃるけれども、実現を目指す段階でも、そういう民間事業者の方々のご意見、市民の方というか、岩間委員も入っていらっしゃるが、ユーザーというか実際にイベント等、そういう意味では事業者の方々との、そういう場があったら良いかなという気がしました。それが1つ目です。

それからもう1つは、これもここで言うのが適切かはわかりませんが、オンラインで場の雰囲気がよくわからないので好き勝手に言わせていただきますと、もうちょっと上の方のリーダーシップというか、そういうのが見えると更に良いかなと。福岡なんかはもう少し上の方が「やるぞ」という感じが見えるんですけども、ちょっとその辺り仙台も、今はコロナで忙しいというのもあるんでしょうが、もう少しその辺りが見えると良いかなと。その旗印の下に市役所が一丸となってやっていくという感じが市民レベルでも見えると、事業者の人も「やろうか」という気にもなるでしょうし、いろんな人達が動こうかという気にもなると思うので、それが全てではないと思うんですが、一助として非常に大切なかなというふうな気がいたしますので、ここで申し上げる話なのかはよくわかりませんが、そういう印象を持っておりますということです。

以上、とりあえずこれからの実現フェーズというのが非常に重要で、私もお役に立てることがあったら今後も頑張りたいと思います。以上でございます。

宮原座長：ありがとうございました。

それでは岩間委員さん、お願いします。

岩間委員：私もここまでくると、後はどうやって実現するんだろうというところなんです。一番気になるのはこういう資料を作った後、「ビジョン決めたもん」と言いながら、「書いてあるもん」と言いながら、伝わってないことの方が圧倒的に多いことって民間企業でもあるあるな話です。いかに日常的に「こういうビジョンを掲げたんだよ」「これを2030年にやるんだからね」ということを、色んな人に言っていく機会を設けるかというのが重要なんじゃないかなと感じています。特に定禅寺通活性のワーキングが動いている中で、その辺りのステークホルダーの方に目が行くのですが、一方でやっぱりこのエリアは市役所が新しくなって、市役所というとやっぱり仙台市全部の庁舎になるので、本当に色んな人が愛着を持って通ってきてほしいエリアになると思います。庁内の連携については表記していただいていたけど、エリアを狭い目線で見ただけじゃなくて、出来るだけ広い目線で仙台市の街中の中心という誇りを皆が持てるような機会をどうやって作っていくかということが、今の時点で書けるのかどうかと思いながら、すごく大事なんじゃないかなということを改めて感じている次第です。すみません、少なめですけど、私からはこれぐらいです。

宮原座長：ありがとうございました。

それでは、高山委員さん、お願いします。

高山委員：事務局の皆さん、大変お疲れ様でした。よくまとめていただいて、感謝しています。

姥浦先生がおっしゃっていた様に、こういった立派なビジョンが出来ましたので、一番のステークホルダーはもしかすると市民かなというふうに思っていて、市民の皆さんにこのビジョンに基づいて作られたこのエリアに、いかに足を運んでいただくかとか、さらにこれを磨き上げてより良いエリアにしていくかというのは、これを作られた仙台市さんだけじゃなくて我々民間でもあり市民でもあると思いますので、これからが大事なのかなと思っていますし、しっかり我々もこれを事業者さんなり市民に伝えていくご協力をしてまいりたいというふうに思っています。

あとちょっと気になるのが、仙台市さんの別の局で仙台駅の西側の公園化という検討がこれから始まると思うのですが、そうすると仙台駅前の今までの魅力プラスアルファで、もしかすると定禅寺エリアに近い魅力が駅前にプラスアルファで備わる可能性もあるというのが危惧されまして、そうするとどうやって定禅寺のエリアの魅力と駅前のそういった緑も加わった魅力を差別化していくかということも、これから仙台市さんの様々な計画を進めていく上で、課題になってくるのかなと思っています。たぶんそれぞれ進める部局では、「おらほ

のが一番」というような感じで進めていかれると思いますので、そこを上手く調整しながら、まち全体でより魅力あるエリアで、それぞれのエリアの役割をエリア毎に担っていただく仕掛けというのを、ワーキングチームとかもビジョンを進めていく上で作られるとおっしゃっていましたので、そういう場を通じながら上手く調整してより良い、それぞれの計画がより生きる調整を進めていただければなというお願いも含めて、発言にさせていただきたいと思います。

宮原座長：ありがとうございました。

それでは舟引先生、お願いします。

舟引委員：はい、ありがとうございます。舟引です。

私はちょっと、また面倒くさい注文をします。

先程から申し上げているように、これはスタートだということなんですが、役所は大体レポートをまとめたならそれでおしまいという、そういうシンドロームに落ちがちなんですが、このレポートを読んだ人、どれだけの人が読んでくれるかは別として、同じイメージを本当に持つだろうかというところ。これが実現性の一番大きなポイントなんです。

ちょっと小さな例ですけど、別の要件で岩間さんとこの間お話をした時に、岩間さんの普段いらっしゃるランチの場所で、ランチの空間構成これをフィジカルに言うと、真ん中にオープンスペースを作って、周辺に店舗やオフィスを持ってくるというやり方なんですが、これはありそうで意外に今までなかった計画論。なぜなかったかという、建築物の敷地は建築物の敷地で計画をして、大体敷地の真ん中に建築ビルが建つわけです。それに合わせて街路だとか公園だとかが周りにくっついているから、あまり一体感はない。結果として街の真ん中に本当に人の居場所があるだろうかと考えると、姥浦先生は都市計画をやってらっしゃるからよくわかると思いますが、本当に居場所のある都市計画は日本では上手くつくり上げられていない。その小さな事例の1つが例えばランチだとか、復興計画の中でそういう形の方法論を大体みんな使っているんですけども、そういうものを仙台の都心で実現するためにはどういう空間イメージを持てばいいか。これを皆でまず共有しないことにはこのプランは上手くいかないと思います。今までの考え方じゃなくて、この新しいプランが結構、革新的なところを言っているのは、まず人の居場所を作りましょう。人の居場所はやっぱりフィジカルプランですから、そう思って作らないと出来ません。そのイメージを市役所の中で共有できているかという、申し訳ないんですけど、人が変わるという色々な事もあって共有ができない。空間のイメージを共有できないと、たぶん多くの人に参加してくると上手くいかない。パブリックコメントの中でもありましたけれども「自動車がブンブン通っていて、そこで休めない」みたいな意見もありましたよね。それをどうにかして、日本で初めて仙台の都心で、人の居場所を先に考えて、道路空間であろうが公園であろうが、そんなことは管理者の理屈なので、人の居場所を先に考えて周りを組み立てていくというロジックを実現するために、そういうイメージを皆で共有しないといけない。それはそんな簡単な話じゃなくて、皆、皆というのは役所の人も民間の人も含めてなんですけれども、やっぱり自

分の目で見えて体験をする、それでこんなものが良いという体験をしたうえで、ディスカッションをする。そんなプロセスをして共有をしていく。そうすると色々な意見を持つ人はいらっしやるんだけど、全体としては1つの方向性に行く。

例えば定禅寺通の車線を減らしてそこをオープンスペースにするという取り組みが先に動くとする、それがどういう、何のために、役所は常に管理者側の立場に立っているから車線を削ってしまうという考えをするのではなくて、それを使う側のロジックから組み立てていく。それに周辺の商業者が応えていく。この定禅寺の議論の中で一番あったのは、若い人が定禅寺に来ないという話で、最初に申し上げましたけれども、やっぱり若い人に魅力のある商業床が無い限り永遠に来ません。誰か他の人が呼んでくれれば儲かるのになというようにロジックが続いている間は上手くいかない、そういう人が来たい空間を皆のイメージで共有して作っていくというところからスタートしないといけないので、そこをまず市の中でも共有してそれを外に伝えられる、そういうステップが一番重要なので、書き物にしたものをいかにイメージをして、共有化するか。このステップをまず役所がやって、それを民間の人達と共有して、そういうプロセスがない限り、そう簡単には上手くいかないだろうなという気持ちがあるので、そこを何とか上手くビルトインしろということではないけど、組織をせっかく作るんであればそういうことを踏まえた形の組織づくりにしてもらいたいなと本当に思います。そんなところです。

宮原座長： ありがとうございます。

皆様から大変貴重なご意見を、色々いただいたんですが、あと表紙について何かご提案あったりする委員の方、いらっしやいますか。岩間さん。

岩間委員： ここまで書いたものに言っているものなのかなと思って言えなかったんですけど、私だったらこうするで言えば、「交流」とか「ゆとり」という人が主役の言葉が掲げられている表紙なので、俯瞰の絵というよりは、人が本当にゆとっているような絵を持ってきては、とはちよっと思いました。よろしくをお願いします。

宮原座長： ありがとうございます。

そういったことを参考にですね、少し表紙についても変更を加えていただければと思います。ありがとうございます。

今日これで一応最後なのですが、まだどうしてもお話したいという方いらっしやいますか。他の委員さんのことを参考にして、何か言い足りないことなどありますか。特によろしいですか。ありがとうございます。

今日はパブリックコメントから始まりまして、皆さんから本当に最終回とは思えない迫力あるご意見をいくつかいただきましたこと、本当にありがとうございました。やはり、パブリックコメントの意見もあって、非常に関心が高かったということは皆さんの、市民の皆さんや事業者の皆さん、地域の皆さんの期待がとても高いということで、その反映だと思えます。やはりパブリックコメントを大事にしてくださいねというのは、姥浦先生も舟引先生

もおっしゃっていたところだと思います。皆さんでこの最終案も含めて共有できるような、これを読んだ方がイメージできるような、そういった書きぶりやそれからパブコメに対する扱いについても、この懇話会が出た意見と共に大切にしていきますというそういったところを、もしかすると最後のところにでも今回このように沢山のパブリックコメントが出たので、それをこれからこの案が具体の施策に落としていくときに、参考にさせていただきたいと思います。そういったパブコメに対するスタンスも書いていただくと良いのかなというふうに思いました。

それから最終案については、皆さんからもこのビジョンに対する期待、委員の皆さんからも出たと思います。やはり駅前と異なるものを作っていく、仙台らしさの価値を作っていくというのは姥浦先生からお話ありましたし、それを高めていく為に民間の方達とワーキングや勉強会の場があったら良いというような。それから上のリーダーさんの掛け声もここに必要ではないかというお話もありました。

あと岩間さんからもこのビジョンがやはり色んな方に伝わっていくためには、日常的に伝え続けていくという事も大事だし、このエリアが色んな人に愛着を持ってもらえるような場になること、これを目指しながら進んでいただきたいというお話でした。

高山さんからもこれを市民の方達それから民間の企業の人達にしっかり伝えていくというところで、ここは是非頑張りたいということでした。また駅前の開発も進むということも聞いているので、少しそこら辺との差別化がどうなるか、また仕掛けというところが必要ではないかというお話がありました。

最後に舟引先生から、プランのその後に関してのご意見ということで、やはりこの懇話会のビジョンに関しては「仙台の居場所をつくる」、タイトルが「仙台の庭」ですから、市民が入れない庭になっては困るわけで、やはり皆の居場所を作っていくということに関して、同じビジョンのイメージを持てるかどうかというところを、もう少し詰めていただければということだったと思います。

また使う側の視点だけでなく、市民目線で利用される、これは全委員の皆さんおっしゃっていましたが、そういった目線から是非見てほしいということで、私も姥浦先生もおっしゃっていましたが、勾当台の価値というのは市民が作っていくという、そういった育てていく部分と言いますか、庭ですから色んな木や草花があってそれを市民の人達が楽しく育てていく、その育った庭がまた次の世代に引き継がれて宝物になっていくという、そういった場、市民の居場所というお話ありましたが、やはりそれをしっかり作っていくんだというところが見えてくると、私も素晴らしいビジョンになることに加えて、これからの施策が楽しみになるかなと思いました。

私の方も少しだけ意見を言わせていただきましたが、今後なんですけれども、先ほども事務局の方で5月下旬に市議会の常任委員会で最終案の報告を行って、その後に内容を確定させるというご説明がありました。それに向けてビジョンの内容につきましては、今日皆様からいただいたご意見、また議会への報告を踏まえた追記、修正がある場合にはその内容を私の方で確認させていただき、ビジョンの内容を確定させていくこととしたいと思います。そのようなかたちで一任していただいてもよろしいでしょうか。

全 委 員： 異存ありません。

宮 原 座 長： それではそのようにさせていただきまして、今後の策定に向けた過程におきましては、事務局より皆様にも情報提供をさせていただくということですので、是非ご覧いただきたいと思えます。

それから最後その他ですけれども、委員の皆様から何かあればお願いします。

よろしいですか。ありがとうございます。

事務局の方は何かありますか。

事 務 局： 大丈夫でございます。

宮 原 座 長： それではこれを持ちまして、第5回勾当台エリアビジョン策定検討懇話会の議事は終了となります。

皆様にはこれまで5回に渡りまして、本当に活発なご議論いただきまして、委員の皆様それから事務局の皆様にもお礼を申し上げたいと思えます。それから傍聴の皆様も毎回熱心に来て下さる方も沢山いらっしゃって、本当にありがとうございました。

それでは進行を事務局にお返しいたします。

事 務 局： 宮原座長、どうもありがとうございました。

それでは本日を持ちまして、勾当台エリアビジョン策定検討懇話会がすべて終了となります。委員の皆様にはお忙しい中、会議にご出席をいただき、活発なご議論をいただきまして心より感謝申し上げます。先程も座長から説明頂いたことの繰り返しになりますが、6月1日の公表に向けましてビジョン策定を進めていきますので、適宜情報提供を差し上げたいと思えますので、引き続きよろしくお願いたします。